

事業所名		ゆわっこのうち	支援プログラム（参考様式）			作成日	R7	年	1	月	15	日
法人（事業所）理念		こともならてはのくらしと遊びを真ん中に。ことも目線の支援を届ける・繋げる・輪を作る										
支援方針		<p>生活の中での困りごとやつまづきを『療育』と『生活』を切り離さずに直接支援する場所。 療育という目線ではなく、“仕掛けと工夫”という考え方を。 その子かいつの間にか「てきた!」が積み重なっていくように、その子を取り巻く周りの理解が広がるよう職員は“繋げていく”役割を担います。 幼稚園連携型の特徴を活かし、子どもがこの幼児期に過ごす「子ども社会」である地域の幼稚園生活の中で実践的かつ直接的な支援を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 誰かと繋がる喜びを知る・みんなの中に僕・私の居場所を見つける療育 きみの好きってなあに? 「好き」な気持ちをたくさん育むことから始めよう。 (この場所か好き・先生か好き・遊びか好き・友達か好きが意欲と友達関係を育む) やってみたくなる仕掛けと工夫を考えよう(訓練ではなく、自分でできた、やりたいと思える気持ちを育てる) 個を見るのではなく、周りの子も巻き込み繋げる (友達関係かその子の背中を後押しする力になる、ありのままの自分を理解してもらうためには?) 										
営業時間		9 時	15 分	から	17 時	15 分	まで	送迎実施の有無	なし			
本人支援	健康・生活	<p>基本的な日常生活のルーティン動作支援を、その子の発達段階や特性に合わせて行います。 集団生活の中で、その子が安心して居られる居場所作り・声かけの方法・視覚支援などの分かりやすくなる仕組みを一緒に模索し、構築します。</p>										
	運動・感覚	<p>日常生活動作の中でつまづきや発達の凸凹に感覚的要素があるのかをアセスメントし、遊びの中で必要な感覚が育まれるよう支援していきます。 自分の感覚の特性を見つけ、付き合える方法を模索し、周りへの理解を含めた支援体制を構築していくことに繋がります。(例: 聴覚過敏→イヤーマフや距離を取った所からの参加など) また幼児期に必要なダイナミックに遊ぶ、好きなものを作る(工作・クッキングなど)を通じて、体と感覚の発達を支援します。</p>										
	認知・行動	<p>連携園での交流体験など、実際の子どもの生活に寄り添う体験を積み重ねる中で、様々な物の認知や理解を深めていけるよう支援します。 感覚の土台となる経験ができる遊びの中で、色、形、音、感触、動きなど多くの気づきを重ね、認知の発達に繋げていきます。</p>										
	言語 コミュニケーション	<p>好きな人、好きな場所、自分のやりたいと思う好きなことをきっかけに、この話を聞いてみたい!これをやりたい!この気持ちを伝えたい!という意欲を積み重ねます。 伝え、伝わりやすい方法をその子に合わせて丁寧に見つけ・支援し、言語・コミュニケーションで「自分の世界が広がり、もっと楽しく人と関わるのが面白くなる」という言葉やコミュニケーションが持つ力を伝えます。その子に合わせ、口の筋肉のトレーニング、言葉の選び方や伝え方、書字など就学に向けて必要なスキルを遊びの中で支援します。</p>										
	人間関係 社会性	<p>職員と安心して、楽しく一緒に過ごせる関係を構築することを第一に、その信頼関係を基盤として、人間関係を広げていながら安定した関係を形成するための支援を行います。 連携園との交流支援を通じ、同年代の子たちと過ごす日常生活での様々な遊びや出来事を通じて、他者との関わりから受ける刺激や他者と繋がる面白さがより本人に伝わりやすくなるよう支援者が繋げる役割を担います。人と過ごすことの面白さ、自分が大切にされることの温かさ、他者を大切にしたいという気持ちを育めるような経験を他者との関わりの中で育みます。</p>										
家族支援		<p>利用日に支援内容を写真付で共有し、お子さんの日々の成長を目に見えやすい形として共有します。連絡アプリや日々の送迎時などお話できる環境を整え、子育ての伴走者となれるような環境を整えます。また、定期的に面談や座談会などの保護者参加や交流の機会を設定し支援します。</p>				移行支援		<p>小学校に向けて園生活で準備できることを担任の先生と共有し、一緒にフォローしていきます。また就学に向けての勉強会や個別相談を行うと共に、就学先の小学校や放課後等デイサービスへの情報共有を行います。</p>				
地域支援・地域連携		<p>所属園や他の児童発達支援、療育センターなどを連携を図り、必要な支援や情報が共有されるよう支援します。 港北幼稚園・ゆうゆうのもり幼保園と連携を図り、様々な関わりや経験を積める場所を作ります。地域での居場所の確保・特性理解を広げるために「wacca」の活動協力を行います。</p>				職員の質の向上		<p>毎日の朝礼、定期的な職員研修とミーティング(小規模なものは週1回・大規模は月1回)を行い、全職員が同じ理念のもと、全利用児に同じ支援を行えるよう努めます。また外部顧問(株式会社ここん)と連携し、必要などが適宜相談しやすい環境と様々な視点から考えられる常に学べる環境を提供します。</p>				
主な行事等		<p>港北幼稚園行事への参加(夏祭り・クリスマス会・もちつき・園外活動など ※参加可能なものは年度による) 園外活動(公園散歩・地域探検など) クッキング活動(月1回)</p>										